

市民活動情報

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えようとする NPO などの道内の市民活動を応援しているセンターです。

特集

「イベントを成功させよう!!」

まずは、準備段階からじっくりと組み立てよう。

秋のイベントシーズンを迎えて、市民活動をしている皆さんは、フォーラムやシンポジウムなどのイベントに忙しいことでしょう。さて皆さんは、どのようにイベントを企画運営していますか？ 実際にイベントを企画準備し、実践する際のポイントを、もう一度考えてみましょう。まず、イベントは何のために行なうのでしょうか？

最も陥りやすい失敗は、実はそこにあります。イベントは「組織やキャンペーンの目的実現ために行なう有効な手段の1つ」です。ところが、イベントこそが目的になり、賛同者を集める・参加の機会を提供するなどの成果がはっきりしない、さらにはイベント終了後にスタッフが燃え尽きてしまう、という事態も起こりえます。目的を明確にして、十分に準備を行ない、楽しくイベントを成功させましょう。

- ①事前のシナリオ作り……当日までの運営体制や進め方のシナリオを作成しよう。今回のイベントの目的をスタッフで共有化し、企画や事前準備の内容を整理しておこう。それぞれにリーダーを決めて、役割や運営体制を整理すると進めやすい。極端な事務局への集中体制になりすぎると、スタッフの当事者意識が下がりやすいからだ。事務局・スタッフ・イベントのみ参加のボランティアさんなどへの、適切な役割分担が必要だ。
- ②告知方法……告知チラシやポスターの作成や配布、新聞やTV・ラジオ・HPなどを使った告知など、様々な告知方法が考えられる。複数の告知方法を織り交ぜて、インパクトのある告知を行なうようにしよう。開催日時や場所の告知はもちろんだが、参加の申し込み方法を分かりやすく伝えるようにしよう。
- ③当日のスケジュール作り……シナリオとは別に、実践当日のスケジュールを作成し、スタッフで確認しよう。進行イメージを具体的にすることで、問題点と対応策がより綿密に練られていくはずだ。
- ④備品リスト……当日に必要な備品リストがあると、ウっかり忘れ物が回避できる。
- ⑤施設の見取り図や会場周辺の地図……イベントの規模によっては、トイレ案内など参加者へのサービスは増えてくる。スタッフが分かっているのは勿論のこと、受付などで配布、告知チラシに添付するなどの工夫が必要となる。
- ⑥リスクへの対応……出演者の遅刻、急病人の発生、天候の変化、イベント最中には何が起こるか分からない。不慮の事故の可能性を想定し、それぞれへの対応策を事前に決めることで、現場で慌てることが少なくなる。出演者の連絡先（携帯電話など）の一覧表作成や、近隣病院の場所や連絡先の確認、行事用の傷害保険への加入など、考えうるリスクへの対応を行なおう。

「段取り8割」と言われ、準備がどの程度出来たかで、成功か失敗かが分かれてしまうと言われています。しかし最近では、若手メンバーを育成するという目的で、事前のシナリオを作らずにイベントの企画を進めていくという手法も見られ、一概には言えません。いずれにしても、常に「イベント参加者への満足度を高める意識」がスタッフには必要です。

(次頁へ続く)

実践当日とその後について、どう動けば良いのだろう。

さて準備も整い、迎えた実践当日に注意すべき点はどんなことでしょうか？ スタッフの心の準備は万全ですか？

- ①**進行チェック**……グループのリーダーにこまめに進行状況をチェックしてもらおう。雰囲気は酔いすぎると、役割を忘れてしまう。しかしリーダーが、現場を冷めた目で見すぎていることが参加者に伝わってしまうと、参加者の気持ちに冷たい水を浴びせたように感じさせてしまう。現場を楽しみながらの進行チェックが欠かせない。
- ②**チェックリストの作成**……スケジュールに合わせた役割分担別のチェックリストを作成しておく、忘れずに行なうことや次に何をやるべきかの確認がしやすい。次の5分、15分、30分後に会場の状況はどうなっていて、自分自身がその時に何をすべきなのかイメージして、具体的に対応出来るように作成しよう。
- ③**アクシデントへの対応**……どんなに準備万端であっても、何かは必ず起きる。何かが起こった時にどうするか、自分自身が対処するのか？ 判断出来る人に引き継ぐのか？ ではその時に、判断出来る人はどこにいるのか？ 瞬時に対応出来るよう、心の準備を万全にしておこう。何も事件が起きないイベントはない、と思っていた方が良い。
- ④**アンケート**……今回のイベントを参加者に評価してもらうために、アンケートを作成しよう。その場で答えられるには、5つくらいの質問が限度と思う。本当に聞きたいことや評価してほしいことを、答えやすく作成しよう。書き込むアンケートの場合は、書けるような場所の設営や筆記用具が必要になることを忘れずに。
- ⑤**終了後の振り返り**……ついにイベントが終了、お疲れ様でした。さて、次の仕事の打ち合わせになっても、スタッフが集まらない、チカラが入らない。「イベント燃え尽き症候群」になってしまったようだ。このようなことにならないためにも、最初の目的意識が非常に大切になる。反省会を行ない、次回のイベントや日常の業務などに反映できるよう、検証と提案を行なおう。この提案が活かされてこそ、このイベントは大成功だ。

〈報告書作成のおすすめ〉

イベントを企画したときから、このイベントの報告書をまとめることを意識しましょう。自分たちが行なった行動のすべてを、キチンとまとめることが出来れば、それは立派な活動紹介のツールとして使えます。企画会議の写真を撮っておく。告知チラシを余分に印刷して保管する。スケジュールの原案や改訂版などの経過を日付入りでファイリングする。刻々と良い方向へ変化する自分たちを、写真・文書などで1つの流れにまとめ、当日の臨場感溢れる写真やアンケートの集計結果などを盛り込めば、それは大事な活動報告書になります。

表紙をつけて挨拶文などを入れ、背表紙にスタッフ紹介を入れましょう。製本テープや市販のファイルなどを利用して、1冊の本のようにまとめれば、報告書として持参できるし、PR効果も強いものになります。また、画像データとして保管出来るのであれば、団体のHPなどで「イベント奮闘記」として、告知用PRとしてもイベント報告としても使えるでしょう。行なったことの成果を残さず積み上げ、本来の団体の目的を達成できるよう、イベントのもたらす効果を最大限に活用しましょう。

●ボランティア保険について●

ボランティアスタッフ、またはイベント参加者の皆さんの事故などを保障する保険があります。

ボランティアスタッフの傷害事故や賠償事故を保障してくれる「ボランティア活動保険」と、イベント参加者の傷害やイベント主催者の賠償責任を保障してくれる「ボランティア行事用保険」の2種類があります。普段から市民活動されている団体は、リスク管理としても有効でしょう。

問い合わせ先 各市町村社会福祉協議会



活動紹介コーナー

NPO法人 コンカリーニョ

「まちとアートを結ぶ劇場の再建」を目指して活動している団体です。

コンカリーニョ（以下コンカリという）とは、“愛をこめて”を意味するスペイン語です。コンカリは、札幌市西区JR琴似駅北側に立地し、昭和初期に建築された缶詰工場の一画だった札幌軟石の倉庫を改装したフリースペースでした。1995年から7年間、全国のアーティストや札幌の舞台愛好者に、演劇や音楽・ダンスの表現活動・ワークショップの場として活用されました。再開発計画進行に伴う建物の解体決定のため活動を休止し、2006年にはまちとアートを結ぶ創造空間として市民の力により蘇ります。この「再建計画支援」に、参加を呼びかけています。事務局長の佐藤ゆみ子さんは「まだまだ北海道の経済が冷え切っていますが、文化や芸術が皆の中に入ってくれば心が豊かになるという効果があるんですよ」と、市民劇場の必要性を力強く説きます。4月から150名ほど収容可能なフリースペース「ターミナルプラザことパトス」の管理・運営もしています。先だっては、全道で活動・活躍しているパフォーマーが集い、平成16年北海道プロポーザル事業「パフォーマー見本市」



(パフォーマー見本市 パントマイムの風景)

を道庁前庭で開催しました。これからの予定としては、第2回全国アートNPOフォーラムの一環で、『踊りにいくぜ!! vol.5札幌公演』を10月23日、24日に開催します。

秋の夜長は芸術に触れて見ませんか。

NPO法人 コンカリーニョ

〒063-0811 札幌市西区琴似1条4丁目2-12

TEL&FAX 011-615-4859

URL : <http://www.concarino.or.jp>

情報スクランブル

◆地域たすけあい研修会in黒松内◆

内容：住み慣れた地域で、高齢になっても安心して暮らしていく為に、心の交流を含めた地域での「助け合い、支え合い」活動を行う、ふれあいボランティア団体の掘起こしをします。

日時：平成16年10月16日(土)10:00~16:00

場所：黒松内町総合市民センター
(黒松内町字黒松内394番地2)

参加費：無料、資料代 500円

連絡先：黒松内町社会福祉協議会内
黒松内町社会福祉大会実行委員会事務局 忠鉢・上田様
TEL.0136-72-3124 FAX.0136-72-3838

◆ホスピスケア市民講座・公開講座

「ホスピスにおける心のケア～患者さんと家族への支援～」◆

内容：六甲病院緩和ケア病棟チャプレンの沼田尚美氏を講師に迎え、「病める人の気持ちをくむ」「家族のあり方と選択を受け止める」等のお話をいただきます。

日時：平成16年10月16日(土)13:00開場

場所：北大クラーク会館(札幌市北区北8条西8丁目)

受講料：一般1,000円、会員・学生700円、高校生500円

連絡先：NPO法人 市民と共に創るホスピスケアの会事務局
TEL&FAX 011-615-6060
(TEL.月~金10:00~15:00)

E-mail : shimin-hospice@mb.infosnow.ne.jp

◆障害のある方のためのパソコンボランティア養成講座◆

内容：札幌市障がい者ITサポートセンターはNPO法人札幌チャレンジが札幌市からの委託を受けて運営しています。

日時：第1回 平成16年10月23日(土)、24日(日)

第2回 平成16年11月13日(土)、14日(日)

第3回 平成16年11月27日(土)、28日(日)

第4回 平成16年12月11日(土)、12日(日)

いずれも10:00~17:00

場所：ポリテクセンター北海道(札幌市西区二十四軒4条1丁目)

受講料：無料

連絡先：札幌市障がい者ITサポートセンター
TEL.011-219-1810 FAX.011-219-1811
(電話受付：月曜~金曜〈祝日除く〉午前10時~午後4時)

◆第9回 文化セミナー「笑い」◆

内容：第1部講演では「児童文化と笑い」河合準雄氏、「脳と笑い」養老孟司氏、「文学と笑い」筒井康隆氏、第2部シンポジウムでは、パネリストとして前出の3人の他、三林京子氏が出席します。

日時：平成16年11月14日(日)開場 11:00 開演 正午

場所：小樽市民会館大ホール(小樽市花園5丁目3番1号)

参加費：指定席6,500円(税込)、自由席5,500円(税込)

連絡先：NPO法人 絵本・児童文学研究センター
TEL.0134-27-0513 FAX.0134-29-4624
URL : <http://www.ehon-ej.com>

郵便はがき

50円切手

をお貼り

ください

0600003

札幌市中央区北3条西7丁目

道庁別館西棟1階

北海道立市民活動促進センター 行

お名前

団体名

住所

TEL.

FAX.

E-mail

(お寄せいただいた情報は情報誌「市民活動情報」の他ホームページなどで随時紹介します)

*「市民活動情報」は奇数月に発行します。

*次回の発行は11月下旬ですので、10月中旬までに情報をお寄せください。

センターインフォメーション

10月～11月に開催する講座・フォーラムを紹介します。

●市民活動基礎講座●

- ・「生きた地方自治と生きた市民活動～新しいまちづくり～」
開催予定：10月14日(木)
開催地：阿寒町
共催団体：阿寒町ふるさとづくり推進会議
- ・「地域社会と連携した青少年育成」
開催予定：10月30日(土)
開催地：北広島市
共催団体：NPO法人チャレンジポート「あゆみ」
- ・「子どもの未来を考える～地域で子どもを育てよう～」
開催予定：11月20日(土)
開催地：帯広市
共催団体：NPO法人帯広NPO28サポートセンター
- ・「NPO基礎講座」
開催予定：11月16日(火)
開催地：遠軽町
共催団体：NPO法人北見NPOサポートセンター
- ・「環境問題からみたコミュニティづくりと人材づくり～仕事おこしの現場から考える市民活動基礎講座～」
開催予定：11月21日(日)
開催地：函館市
共催団体：活力ユニット

●市民活動全道フォーラム「NPOの学校祭」●

NPO法人ねおす代表の高木晴光氏による講演や道内38団体の活動紹介コーナー、交流・相談コーナーを設置、フィナーレでは「みんなで飛ばそう紙飛行機」など交流を深めます。
どうぞ、ご参加ください。
日時：10月23日(土) 11:00～17:00
場所：札幌市 旧豊水小学校体育館
(札幌市中央区南8条西2丁目)
対象者：市民活動関係者、市民活動に興味のある方
参加費：無料
詳しくは、当センターのホームページをご参照ください。

●市民活動地域フォーラム●

- ・「NPO活動における地域住民とボランティア活動」
日時：10月16日(土) 18:30～21:00
場所：常呂町多目的センター 大ホール
共催団体：NPO法人自然体験村「虫夢とこころ昆虫の家」
- ・「オホーツクNPOフォーラムin留辺薬」
日時：10月30日(土) 14:00～17:00
場所：留辺薬町中央公民館
共催団体：NPO法人北見NPOサポートセンター

◎開催日程などは、変更になることがありますので、予め当センターのホームページでご確認ください。

情報送付ハガキ

掲載希望の情報 ・タイトル	
種別(○で囲む)	・イベント ・勉強会 ・その他 ()
日時	月 日 () 午前・午後 : ~ :
簡単な内容	
場所	
参加要件	参加料 () 円
その他	

※FAX・Eメールでも情報を受け付けています。

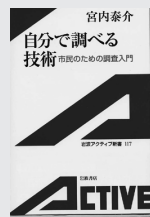
●ご意見・今後取り上げてほしいテーマ等をお書きください。

おすすめ BOOKS

『自分で調べる技術』市民のための調査入門

内容：自分たちが自分たちのことを決める、という言っ
て見れば当たり前のことを、行政、専門家、マス
コミに頼らないで、地域の問題、社会的な問題を
的確に把握し解決するための調査。調査はそんな
に難しくない。調べようという意思と少しのノウ
ハウがあれば簡単ですよと、著者はいう。書籍、
雑誌記事、論文、統計データの探し方、インター
ネットによる検索と情報の信頼性、
人の話の聞き方、情報のまとめ方
などが具体的に書かれている。

著者：宮内 泰介
発行：株式会社 岩波書店
価格：777円(本体740円+税)



編集後記

「北海道の夏から秋は、様々なイベントが真っ盛り
です。イベントに参加することも勿論楽しいのですが、
自分たちで創り上げたイベントはその苦勞の分、有り
余るほどの達成感や充実感が味わえます。この号を参
考に是非とも自分たちのイベントを創ってみませんか？
新たな活動展開のヒントを得たり、新たな人脈ができた
り、何といたっても終わった後のビールが美味いんだ
なァ…… (M)」

編集委員：堀越恵子、東田秀美、大石真義、山本真司